

気候変動適応推進会議（第5回） 議事要旨

1 日時

令和3年8月20日（金）14:00～14:30

2 場所

オンライン・環境省 24 階省議室

3 議事要旨

冒頭、小泉環境大臣の開会挨拶において、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第6次評価報告書第I作業部会報告書の公表により世界全体で「気候危機」の認識が共有されたこと、緩和と適応を気候変動対策の車の両輪として強力に進めることが必要であることを述べるとともに、今秋に気候変動適応計画を改定することは、国内で気候変動対策を強力に推進し、今後、頻度や影響が大きくなると言われている豪雨災害等に備えること、及び英国で開催されるCOP26において我が国のプレゼンスを発揮するためにも極めて重要であるとの発言があった。また、関係府省庁に対して、気候変動に関する取組を進めるための体制整備、重大性及び緊急性が高い項目について対策評価指標（KPI）の設定とそのフォローアップ、及び本省と地方の出先機関等が一体となって地方自治体との連携促進をお願いする旨の発言があった。

また、中山防衛副大臣から、防衛省において、昨年度より再生可能エネルギーにより発電された電力の調達を開始し、令和3年度は半分の電力を再生エネルギーに転換できたこと、本年5月に気候変動と安全保障における課題等について、防衛省が一丸となって検討を行うための「防衛省気候変動タスクフォース」を設置したこと、環境政策全般を一元的に担当する環境政策課を新設し、気候変動を含む環境問題に対応する体制の強化を行ったことの紹介があり、今後とも、気候変動への対応に積極的に取り組んでいくとの発言があった。

(1) 気候変動適応計画改定骨子案について

(2) 気候変動適応計画改定のスケジュール等について

- ・ 環境省から、資料1参考及び資料2に基づき、気候変動適応計画改定骨子案及び改定スケジュールについて説明があり、関係府省庁間で確認を行った。

(3) その他

- ・ 国土交通省、文部科学省から、各省における気候変動適応に向けた取組等について

て発言があった。

(国土交通省)

- ・総力戦で挑む防災・減災プロジェクトの強化、気候変動を踏まえた治水計画の見直し、流域治水の実効性を高めるための法改正、グリーンインフラの社会実装、グリーン社会の実現に向けた「国土交通グリーンチャレンジ」のとりまとめと全省的な実行体制としての「国土交通省グリーン社会実現推進本部」の設置

(文部科学省)

- ・気候モデル開発等を通じた科学的知見の創出と、それらを蓄積、解析、提供する情報基盤としてデータ統合・解析システム（DIAS）の構築、科学的な将来予測データも活用した気候変動対策への転換を加速する新たな研究プログラムの検討

最後に、笹川環境副大臣から、気候変動対策の緊急性や重大性は日増しに高まっている中、従前からの取組と協力に感謝するとともに、小泉環境大臣からお願いのあった3点について、改めて各関係府省庁に協力をお願いしたい、との発言があった。